

令和5年度決算概況（資料編）

*表示単位未満を端数処理しているため、合計が一致しない場合がある

I 一般会計決算

1 令和5年度決算収支

(単位：億円)

	R4	R5	増減
歳入総額 (A)	9,621	9,657	36
歳出総額 (B)	9,464	9,548	84
繰越財源 (C)	79	21	△ 58
収支 (D = A - B - C)	77	88	10

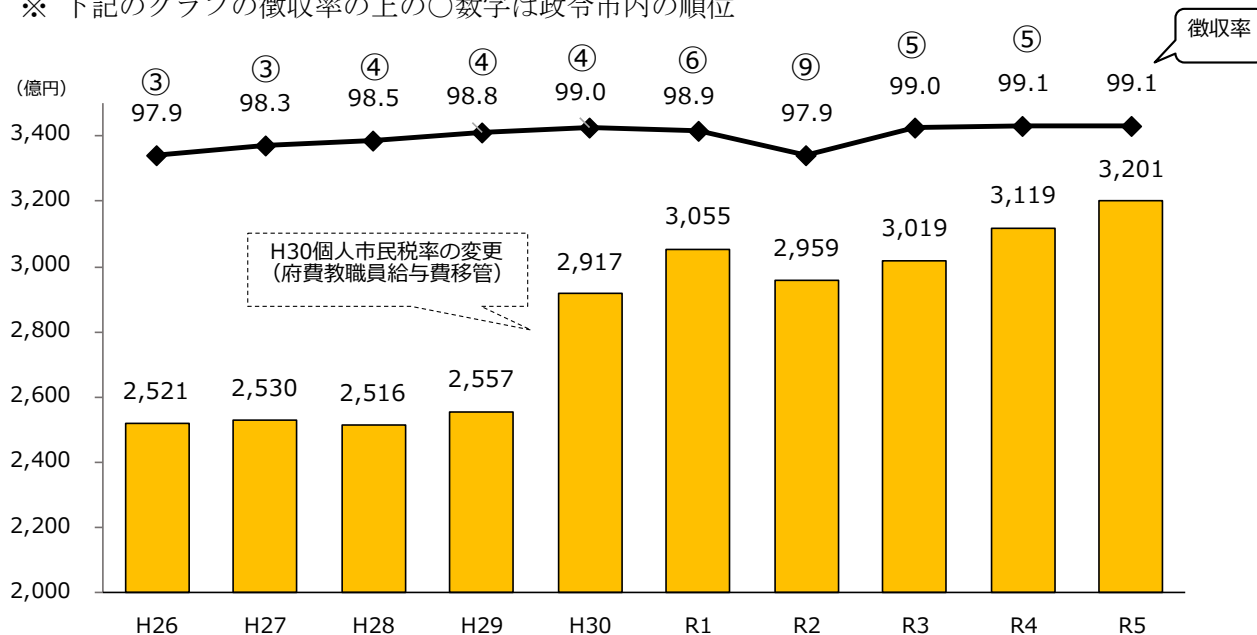
2 市税・地方交付税の状況

(1) 市税収入額（億円）及び市税徴収率（％）の推移

★令和5年度の市税収入額、市税徴収率は、ともに過去最高

- ・市税収入額：令和4年度の3,119億円を上回る3,201億円
- ・徴収率：過去最高だった令和4年度と同様の99.1%

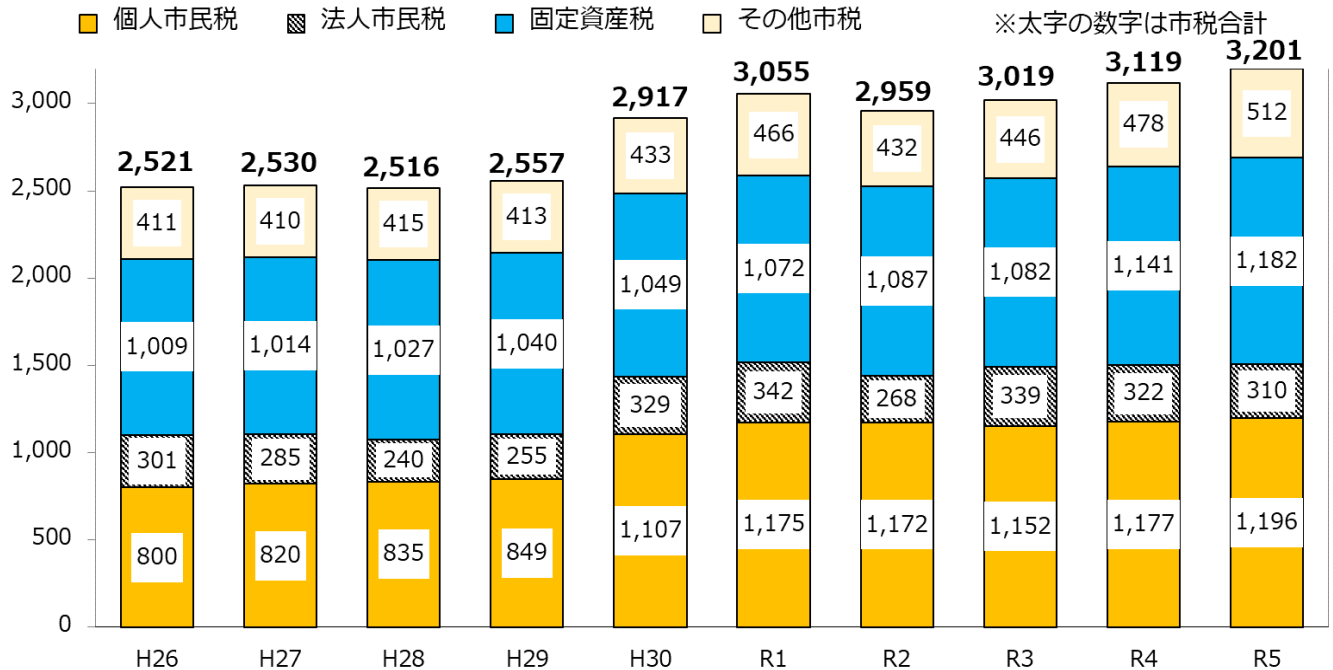
※ 下記のグラフの徴収率の上の○数字は政令市内の順位



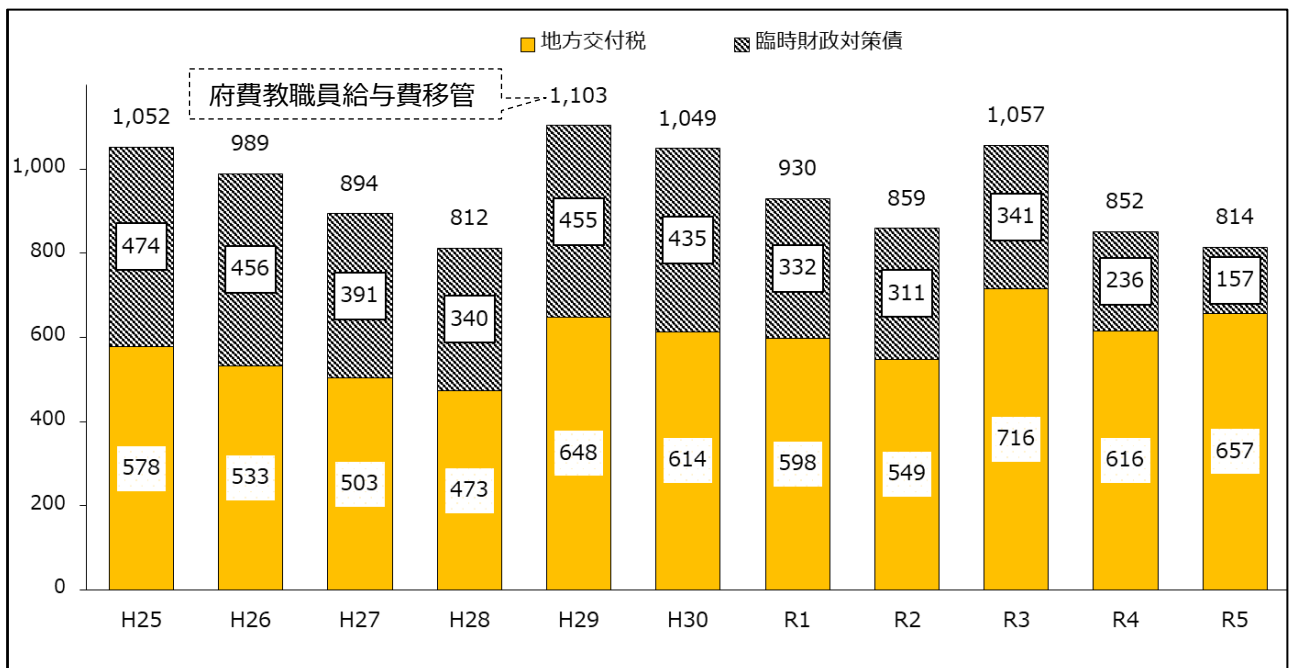
(2) 税目別の市税決算額の推移 (億円)

★個人市民税、固定資産税等が堅調

- ・ 個人市民税 +19 億円 (R④→R⑤) : 給与所得等の伸びによる増
- ・ 固定資産税 +41 億円 (R④→R⑤) : 土地の地価上昇に伴う負担調整措置等による増
- ・ 法人市民税 △12 億円 (R④→R⑤) : 一部企業の業績の変動による微減



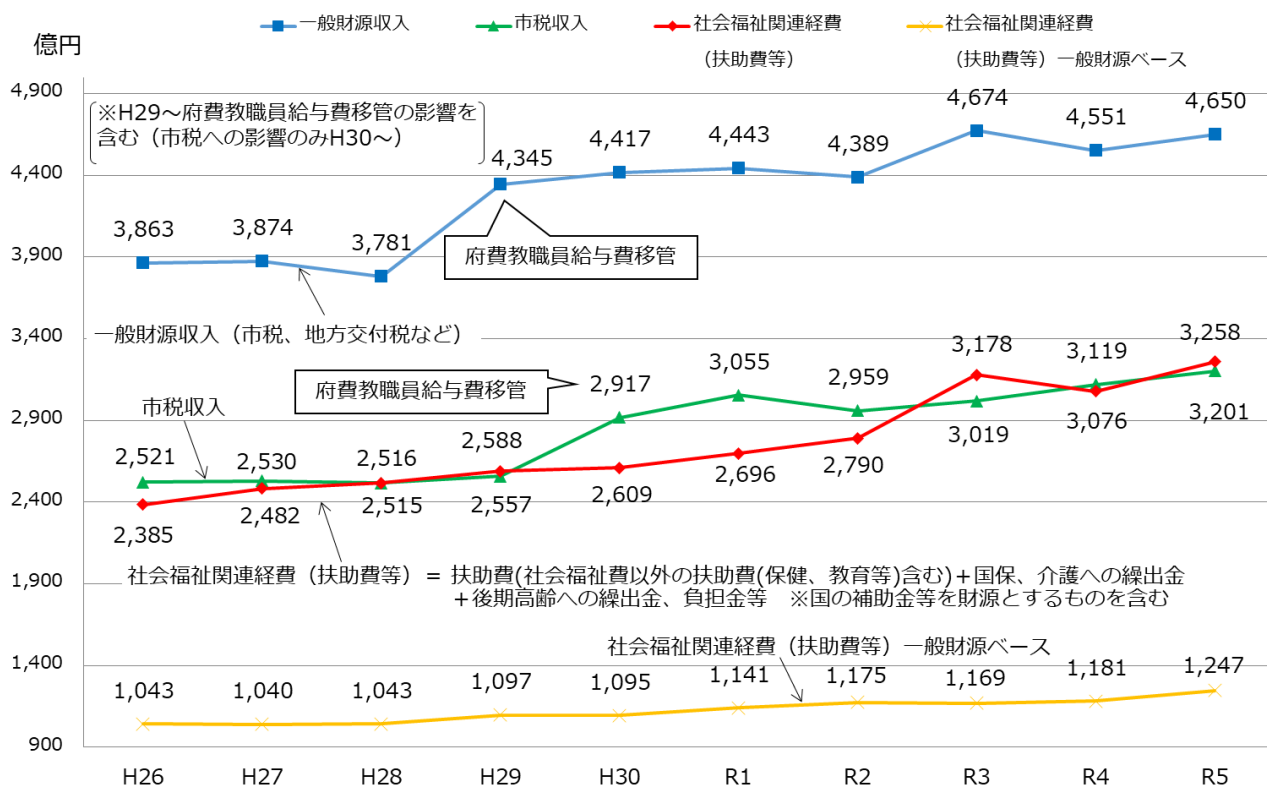
(3) 地方交付税及び臨時財政対策債の推移 (単位：億円)



※ 平成 15 年度のピーク時から 49%、635 億円削減

(H⑮ : 1,307 億円→R⑤ : 672 億円 (府費教職員給与費移管の影響を除いた額))

3 一般財源収入、市税収入、社会福祉関連経費の決算額推移



4 歳出の決算額（性質別）

(単位:億円)

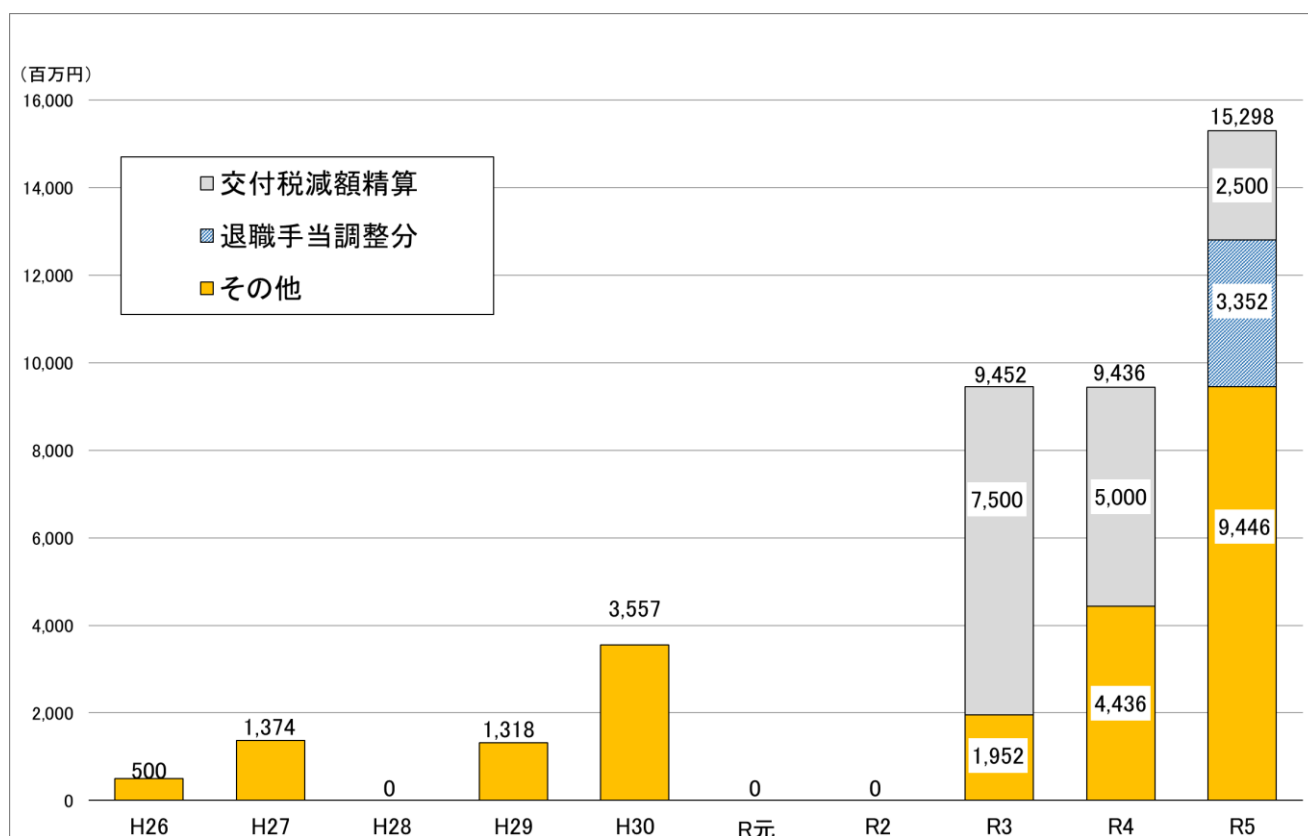
項 目	R4	R 5	増減額	主な増減理由
給与費	1,572	1,522	△49	定年引上げに伴う退職手当△64
扶助費	2,436	2,601	+ 164	くらし応援給付金+ 268 価格高騰緊急支援給付金△123 新型コロナ対策△31
物件費その他	2,934	2,771	△163	過去負債の返済+35 新型コロナ対策△62 コロナワクチン△67 中小企業融資制度預託金△56
投資的経費	655	718	+ 63	3施設一体化整備+ 22 小中一貫教育校整備+ 21 西京区総合庁舎整備+ 20
公債費	880	887	+ 8	
積立金	159	254	+ 95	財政調整基金積立+ 37 公共施設等整備管理基金積立+ 36 国民健康保険事業特別会計基金積立+ 23
繰出金	829	796	△33	土地取得特別会計繰出金△30
合 計	9,464	9,548	+ 84	

5 ふるさと納税寄付金の状況

年 度	収入				支出	収支 (D-E)
	寄付受入額 (A)	寄付金控除額 (B)	地方交付税 (C) ※	差引収入 (D=A-B+C)	返礼品等 (E)	
R2決算	17.62億円	40.59億円	29.32億円	6.35億円	8.15億円	△1.80億円
R3決算	62.39億円	49.79億円	30.44億円	43.04億円	27.36億円	15.68億円
R4決算	95.08億円	64.57億円	37.34億円	67.85億円	42.21億円	25.64億円
R5決算	100.06億円	73.91億円	48.43億円	74.58億円	47.71億円	26.87億円
R6見込 【6.1時点】	—	82.46億円	55.43億円	—	—	—

※ 地方交付税は、前年の寄付控除金額に国が示す伸び率を乗じて算出した見込額の75%を措置
 (例) R⑥の場合：前年寄付金控除額 73.91 億円×国が示す伸び率 1.0×75%＝措置額 55.43 億円

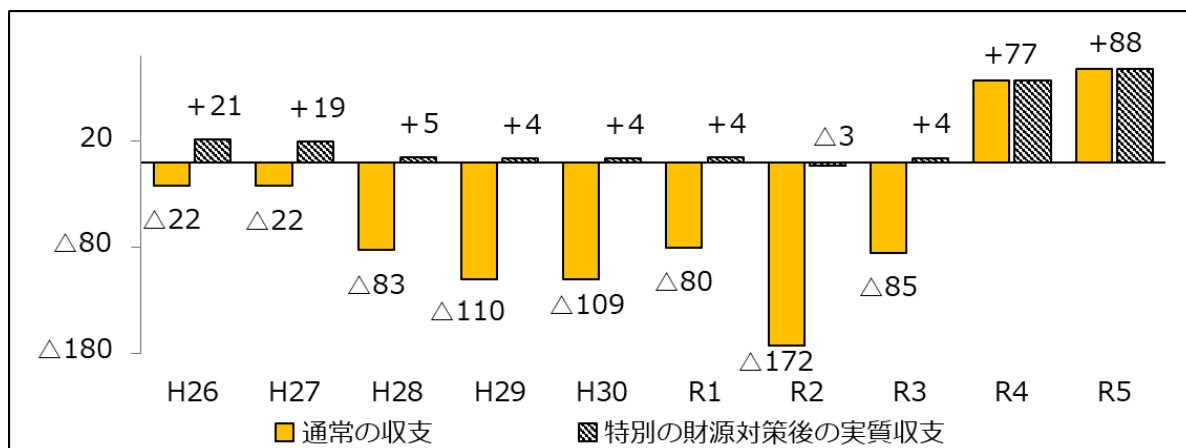
6 財政調整基金残高の推移



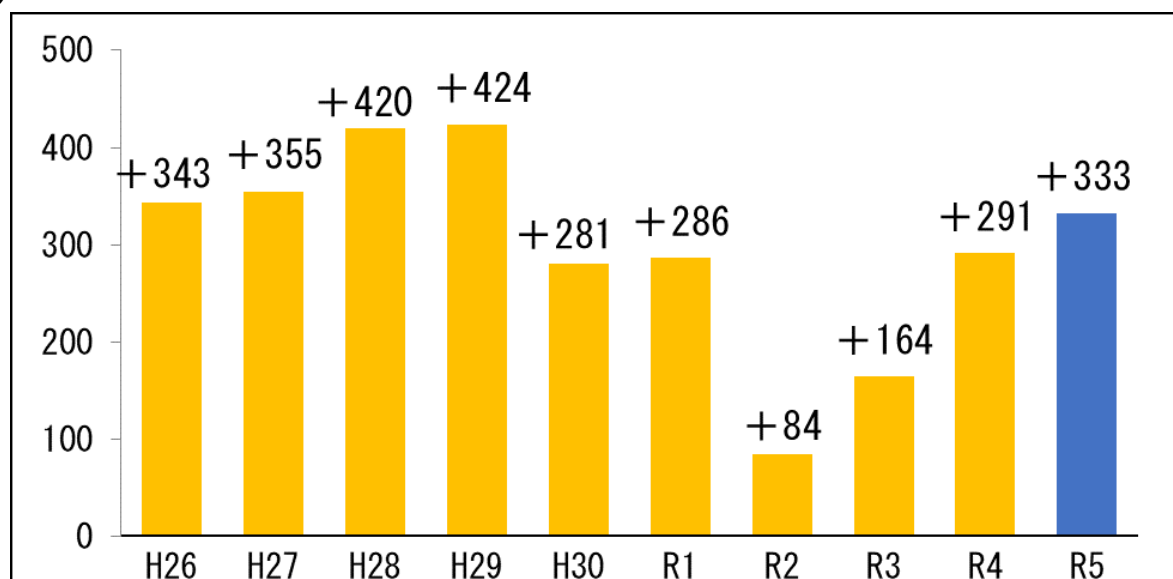
Ⅱ 全会計決算の概況

1 一般会計及び全会計の収支の推移

(1) 一般会計の収支（単位：億円）



(2) 全会計の連結実質収支（単位：億円） ※一般会計の値は実質収支で推計



<参考> 全会計の連結実質収支の内訳

（単位：億円）

会計名	5年度 決算	(備考) 一般会計からの繰出額
一般会計	88	-
特別会計		
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	7	0
国民健康保険事業	8	156
介護保険事業	26	246
後期高齢者医療	8	50
中央卸売市場第一市場	10	9
中央卸売市場第二市場・と畜場	-	6
農業集落排水事業	0	1
土地地区画整理事業	8	-

会計名	5年度 決算	(備考) 一般会計からの繰出額
特別会計		
土地取得	-	0
市公債	-	-
市立病院機構病院事業債	-	-
公営企業会計		
水道事業	69	31
公共下水道事業	96	190
自動車運送事業	13	44
高速鉄道事業	-	64
合計	333	796

※ 決算額が0円の場合は一で、億円未満の場合は0で表示

2 一般会計及び全会計の市債残高の状況

★ 臨時財政対策債（国が返済に責任を持つ借金）を除く市債残高

＜一般会計＞ ピーク時（平成 20 年度末）から 18%減

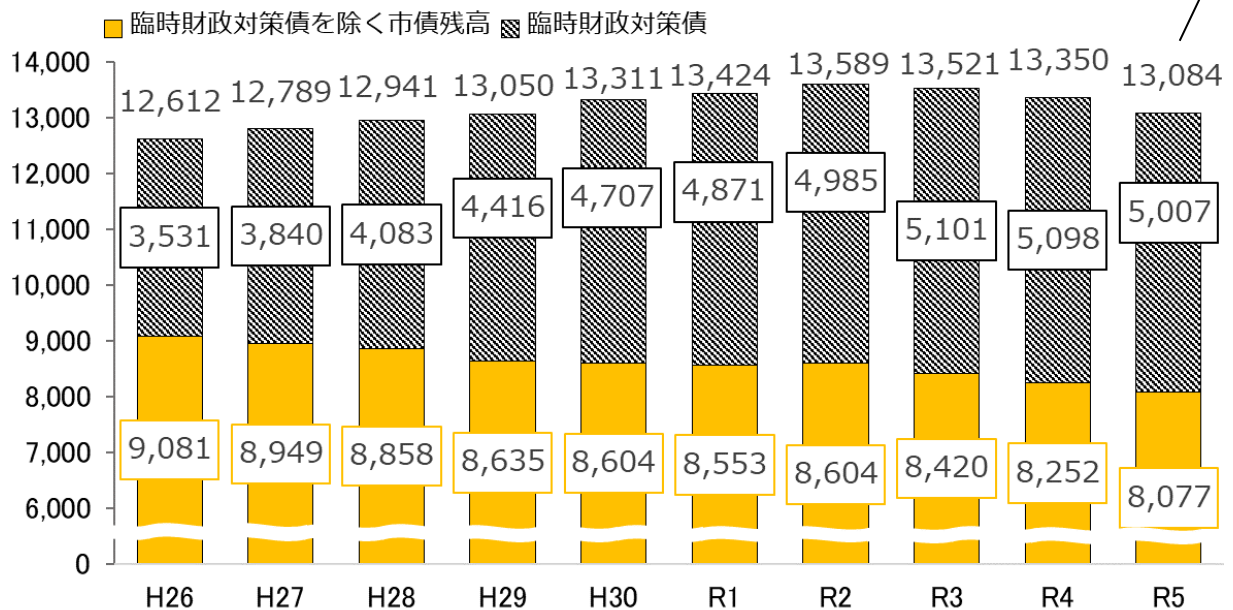
H20 年度末:9,832 億円→R5 年度末:8,077 億円(△1,754 億円)

＜全会計＞ ピーク時（平成 14 年度末）から 26%減

H14 年度末:2 兆 957 億円→R5 年度末:1 兆 5,509 億円(△5,447 億円)

＜一般会計の市債残高の推移＞（単位：億円）

R④に引き続き、
臨時財政対策債を含めた
市債残高を削減



＜全会計の市債残高の推移＞（単位：億円）

